

臨床研究に関する情報公開について

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	既存の電子カルテデータを利用したアレルギー疾患の治療状況に影響するリスク因子の観察研究			
実施予定期間	研究実施許可日　～　（西暦）2026年3月31日			
実施診療科	小児科			
研究の審査等	臨床研究審査委員会審査日		2025年1月16日	
	研究実施承認日		2025年1月16日	
対象となる方	けいゆう病院小児科外来にアレルギー疾患(食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、薬剤アレルギーなど)の診断・治療のために通院された方			
対象期間	2015年1月1日～2025年3月31日			
主たる研究実施機関	一般財団法人神奈川県警友会　けいゆう病院			
共同研究機関	【研究組織】参照			
当院の研究責任者	所　属	小児科	氏　名	津村由紀
研究の意義	小児アレルギー疾患の罹患率は 50%と近年増加しており、「アレルギーマーチ」と呼ばれるように、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息、鼻炎は年齢を追って発症します。アレルギー疾患の発症や進展には、遺伝的な要因に加えて様々な環境要因(食生活・衛生環境・喫煙・薬剤使用歴・感染症など)が影響しています。各アレルギー疾患が他のアレルギー疾患の危険因子となるかについては、アトピー性皮膚炎が食物アレルギーや喘息の発症に影響すること、ウイルス感染と喘息の関係性についてなど、一部の研究成果がだされていますが、まだ不明の点も多く残っています。 このため、アレルギーの診療を受ける多数の患者さんの日常診療の情報を収集して、調査解析する研究を行います。			
研究の目的	他のアレルギー疾患合併や環境要因から難治や重症となる危険因子を見つけ、アレルギー疾患の患者さんそれぞれに合ったより良い治療の開発につなげるこ			

	とを目的にします。
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、集められた情報をデータベースへ登録します。
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を匿名化した上で使用します。 問診票の記録(乳児期の栄養方法、食物アレルギーの症状、スキンケア方法、ペット飼育など)、診療録(身長体重、今までの病気、家族のアレルギー疾患、アレルギー疾患の治療状況など)、検査結果(負荷試験、血液検査、皮膚テストなど)
診療情報等の他機関への提供方法	必要なデータを、研究担当者がデータベースに登録してセキュリティのかかった電子媒体に保存します。データは匿名化したうえで慶応大学病院小児科の研究担当者に電子化した情報として提供されます。
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定ですが、個人を特定できる情報として公表されることはありません。
個人情報の保護	対象者となる方の情報使用に関しては、個人を特定できる情報を削除して番号（匿名化）を付けた上で研究責任者の責任のもと厳重に管理・保管します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途臨床研究審査委員会の審査を受け、院長の許可を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
お問い合わせ	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 電話 045-221-8181（代表） 内線2042 小児科 津村由紀

【研究組織】

1 研究代表者

慶應義塾大学小児科アレルギー班アレルギー疾患調査

慶應義塾大学医学部小児科 教授 鳴海覚志

2 共同研究者、研究実施施設

所属	責任者
慶應義塾大学病院	伊藤環
さいたま市立病院小児科	明石真幸
(一財) 神奈川県警友会けいゆう病院小児科	津村由紀
(独) 栃木医療センター小児科	石井とも
川崎市立川崎病院小児科	外山陽子
国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー部	森田英明
横浜州市立市民病院	細田愛
東京都立小児総合医療センターアレルギー科	森田久美子
(独) 国立病院機構埼玉病院小児科	漢那由紀子
日野市立病院小児科	磯部あいこ
新百合ヶ丘総合病院	和田未来